

御殿場市中小企業振興推進会議 議事録

1. 日時 令和5年3月14日（火）14時～15時30分
2. 場所 御殿場市役所東館201～203会議室
3. 出席者 芹澤 孝壽 委員長、大川 隆久 副委員長、渡邊 圭太 委員
勝又 あゆみ 委員、押尾 昌俊 委員、前島 大一 委員
田代 幸男 委員、荻野 貴広 委員、高橋 健太郎 委員
勝又 浩 委員、鎌野 晃 委員
(事務局) 商工振興課 勝又課長、芹澤課長補佐、根上主任

4.開会

5.委員長挨拶

今日は忌憚のないご意見を聞かせていただき、これからの中小企業の振興の参考、アドバイスになればと思う。新しい委員の方も忌憚のない意見をいただきたい。

6.議事

(1) 令和4年度中小企業支援施策について

事務局から令和4年度に実施した各施策について、概要等を説明した。
意見、質疑は以下のとおり。

勝又委員	同世代、子育て世帯では使っている人が多い。一方で20～30代では使っている人が少ない。理由を聞くと「使えるお店がわからない」「チャージできるお店が少ない」ということだった。若い世代はスマホから直接チャージすることに慣れているので、現金でのチャージが不便であるようだ。入金時のチャージポイントもあるが、入金額が少額となるのであまり魅力的にうつっていない。
高橋委員	若年層に向けたPR施策などはあるか。SNSを利用した施策等は。
事務局	SNSについては市のLINEやFacebookを通じてPRを行っている。頻度については他の施策とのバランスもあるので難しい部分もある。これ以外には、従来からの広報紙や無線放送、新聞へのプレスリリースを行っている。また、chiicaアプリをいれてくれた人には、直接発信ができる。
押尾委員	運営事業者は全国区の会社か。事業者の選定方法は。
事務局	庁内で検討委員会を設置し選定した。事業者を複数比較していく中で、コスト面やマイナポイントの受け皿となり得るか、他施策との連携ができるかといったことを考慮した。全国的にシェアも高い。

押尾委員	行政によっては他のキャッシュレス決済と連携しているところも多いと思う。後々を考えるとそちらよりも良かったということか。
事務局	他のキャッシュレス決済では換金手数料がかかるということもデメリットだった。
大川副委員長	個人的にはキャッシュレス決済は使っていないが、地域通貨ならではの強みがあると思う。行事に参画したらポイントもらえるなど、いいツールになる。中小企業の将来を考えると、若い方への普及が必要になってくる。これを使ってなんとかできないかとも思う。
芹澤委員長	防災訓練で100ダラー。現場ではもらえなかった。
鎌野委員	PR 不足だった部分はある。周知がうまくいかなかった部分があり、反省したい。
大川副委員長	継続していけば浸透していく部分あるのでは。
事務局	各区長会を回って説明はさせてもらったが、周知の期間が短かった。回覧板のチラシから100ダラーもらえるような仕組みにもなっていたが、現場でもらえる体制というのが一番良いとは思っている。区長さんと防災リーダーに協力してもらってやる方法を令和5年度は考えていきたい。
大川副委員長	市の主催以外のイベント、例えば同友会祭りを計画しているが、そこで配ることは可能か。
事務局	可能。年末にエピと連携して実施した際はポイント分のみエピに負担してもらった。その調整ができれば問題ない。
渡邊委員	Gコインの利用状況を周囲に聞いたが、家庭のある方の使用率は高いが単身では低いようだった。紙の商品券の時との違いはあるか。
事務局	過渡期ということもあり、紙の商品券よりも販売額は低い。一方で、使用率については今回の方が高い。周知が行き届いていない、という反省はあるがデジタル化した方が利便性は向上すると考えており、発行額も上げていきたい。

渡邊委員	紙の商品券のときは若者も買っていたように思う。今回2回目は聞いたが1回目はあまり知らなかった。駅前イベントでのポイントの配布状況はどうだったか。
事務局	1,000人くらい参加があり、約250人が受け取った。
渡邊委員	市からお金を配れる、というのは良いことと思う。メリットはどこか。
事務局	令和5年度に向けて、環境や健康増進分野との連携も開始し、地域への貢献という面でメリットを感じていただきたいと考えている。
勝又委員	参加している事業者の話を聞くと「換金の手間が少ない」「手数料がかからない」という部分にメリットを感じている声が多かった。
芹澤委員長	換金の手間が少ないことは聞いている。一方で加盟店が少ないのでは。もっとアピールして使えるお店が増えないと利用者も増えないのではないか。
押尾委員	カード決済の専用端末が必要といった費用負担はあるか。
事務局	スマホ・タブレット端末に専用アプリをインストールすれば良いので、既存の端末がある場合は新たに購入していただく必要はない。
押尾委員	カードが使えるお店が少ないようなので、その部分を増やせば高齢者の使用も増えていくのでは。
事務局	月の入金可能額が少ないという声があり10万円に増額した。クレジットカードの入金も検討をしているが、必ず手数料がかかる。先行自治体の意見も聞き、今の状態になっているがセブン銀行ATMでチャージ可能となっているので様子を見たい。

(2) 同友会アンケートの実施結果について

同友会例会で実施した、デジタル化に関するアンケートについて結果報告をした。

意見、質疑は以下のとおり。

大川副委員長	今回のアンケートすべての中小企業の意見ではないが、DXの定義が曖昧なところもあり出来るところからとなっている。DXのできることに
--------	--

	認識も人それぞれであるので、セミナーの開催などで共通認識を図るところが今の段階では必要ではないか。
芹澤委員長	回答してくれた30社は、デジタル化への意識が高い企業ではないか。そう考えると、この比率は全体的ではない。興味の無いところが多いのでは。
芹澤委員長	他の団体にもアンケートをやってみたらどうか。

(3) 各団体からの取組報告について

出席委員から、各団体で行っている中小企業振興に資する取組みについて報告いただいた。

大川副委員長	昨年度この場で「キャリア教育」を教育委員会と連携してできればとお話をさせてもらった。コロナ禍で中々進まなかったが、来年度南中学校と同友会で連携してキャリア教育をやっていくことになった。委員の体制的に2年くらいは実施できそうだが、継続的にできるように協議させてもらいたい。
芹澤委員長	何人くらい参加できそうか。
大川副委員長	現時点では未定だが、同友会で10～20社は参加できると思う。先生たちも職場体験先の確保に困っているという話を聞いた。
勝又浩委員	コロナ禍でこれまで受け入れていただいていた企業での対応が難しくなってしまった。今後コロナ規制も緩和されていくのでぜひお願いしたい。
渡邊委員	J Cは毎年体制が変わるので、継続事業が難しい。団体として交流があるのが、小山高校と御殿場西高校。御殿場南高校でもイベントをやるので、これから交流が増えていく。まちづくり系の事業としては遊RUNパーク玉穂で「らすとさまーフェスティバル」を開催した。今後は自衛隊の勉強も進めていきたい。原発が近くにある自治体だとそういった勉強もしている。自衛隊を抱えるところとして子どもたちが自衛隊を学ぶことができるように。また、去年から金融リテラシー教育も始まっている。お菓子をつかって経済がどう回っているのか、という勉強を高校とやっている。婚活イベントのような形でバルもやっている。
芹澤委員長	商工会では経済対策助成制度が非常に好評で、予定を延長して実施することになった。

<p>押尾委員</p>	<p>工業系では新たに技能技術の認定制度を開始した。今年度は申込みの2社認定。これから毎年やっていく予定。</p> <p>協同組合を作っている団体の支援をしている。相談が多いのはインボイスの関係。建設業関係など進んでいない業界があり、周知・理解・協力をお願いしている。免税事業者がよくわかっていないところもあり、混乱はおきるであろう。</p> <p>人材確保も課題になっていて、宿泊業者では本当に足りていない。予約は入るが、コロナ禍で削減してしまい対応が難しくなっている。</p> <p>SNSを使った人材確保の取組もあるようだ。</p> <p>コロナ前に多かった技能実習生も、最近は戻ってきたが、円安が顕著ということで日本よりも韓国・オーストラリアを希望する人が多いようだ。これまでは受け入れのために組合設立の相談が多くあったが、だいぶ減ってきた。</p>
<p>前島委員</p>	<p>観光協会ではお祭り全般をやっている。御殿場の日はいつか。</p>
<p>鎌野委員</p>	<p>10月8日</p>
<p>前島委員</p>	<p>賑やかになると思うのでGコインの認知度を上げることもできるのではないか。</p> <p>2019年に箱根乙女口に観光案内所を移設したが、ようやくインバウンドも増えてきた。アジア系、ヨーロッパ系結構きているようだ。</p> <p>観光DMOという観光庁の地域づくり法人をつくったらどうか、という話がありそこに手をあげて進んでいる。設立できれば補助金もあるようなので期待をしている。</p> <p>コロナが終わって、夏祭りなどいろんな事業が進んでいくことになる。御ブランドも作った。市とも連携しながら、新しい取り組み進めていきたい。</p>
<p>田代委員</p>	<p>昨年4月に農協は合併し、広域化したことで管轄が20市町になった。Gコインの話もいただいたが、地区本部に決裁権限がなく、管轄の全市町共通化しないといけなくなってしまった。</p> <p>国の施策で農家所得の向上も施策になっているので、その点についても取組をしていく。</p>
<p>芹澤委員長</p>	<p>御殿場地区本部の権限でできる部分はあるか。</p>

田代委員	<p>中々難しい。</p> <p>個人的には、現金とキャッシュレスの2本立てでいくことは必要と考えている。先日神山地区で停電して店舗が開けない、ということがあった。有事の際にも備えて2分化していくことが必要ではないか。</p>
荻野委員	<p>様々なキャッシュレス決済サービスがある中で、やはり若者への浸透が課題。今は飲み会の精算までキャッシュレスで出来る。実際はATMで入金ができるから…ということではそこまで利用率は向上しないのではないか。コストをかけてもIT化、ということが必要になってくる。顧客にIT関係のアンケートを行っているが、コストの問題、苦手意識、人手不足という課題があがってくる。IT化といっても色々と取組がある、コスト以上に楽になるようなこともある。金融機関として何ができるか、ということはあるが幅広い相談を受けることができるようになっている。</p>

(4) 令和5年度中小企業支援施策について

事務局から令和5年度に予定する中小企業支援施策について説明をした。

意見、質疑は以下のとおり

高橋委員	<p>ベネフィ駿東について。中小企業の福利厚生を担っている団体であるが、会員拡大に意欲的に取り組んでいる。新しく入ってきた企業等あればぜひ市から情報提供をしていただいたり、勧誘の際に同行していただいたりといったサポートをお願いしたい。市の職員が帯同してもらえると話しやすい。</p>
芹澤委員長	<p>商工会の方にも会員が減少しているので増やしたいという要請は来ている。各会社でぜひ検討してもらいたい。</p>

(5) その他

特になし

7.閉会